

令和7年度 福岡県主催

地域コミュニティ活性化研修会

地域コミュニティの活性化を図るため、地域コミュニティの運営・活性化に係る知識やノウハウの習得や、先進的な取組事例の共有を目的に開催します。

講演会「これからのコミュニティづくりについて」

講師 田畑 昇悟氏
兵庫県丹波市生まれ。新卒社、カーナでのNGO活動を経て、2014年NPO法人テダス事務局長に就任。京都府南丹市を拠点に、市民活動相談や集落会議支援、地域づくりを推進。

活動事例報告「地域コミュニティのデジタル化」

発表者 石長 史康氏
LINEやHPで自治会運営をデジタル化し、住民交流を推進。福岡市・国連ハピタットで行政経験13年。現在は生成AI事業も展開、先進的な地域活動を丹波市で実践。

2026年2月3日

自己紹介

NPO法人テダス

中間支援（NPO・市民活動団体の支援）を行う団体です。拠点は京都府南丹市。

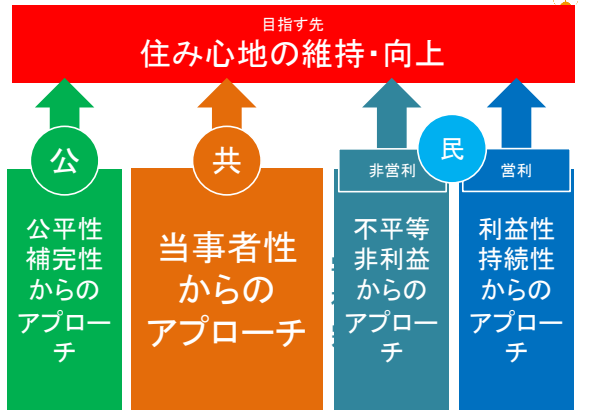
趣味は、ごみ拾い

NPO法人テダス事務局長
田畑 昇悟
市民活動のよろず相談員




こらからのコミュニティづくり

- 1) 強いコミュニティとは
- 2) 強いコミュニティになる10の習慣
- 3) 参加者・参画者を増やそう
- 4) 地域ルールの見える化



強い地域コミュニティ



分業&スケールメリットによる効率化で、「共」の役割を、「公」「民」がどんどん引き受けた。

共の力が弱くなった。

機能的共：実際の役割
心理的共：自分たちでどうにかしようという感覚

税収減、人材減で「公」の力が弱まっている。

3

強い地域コミュニティ

集落機能	1 資源管理機能	2 生産補完機能	3 生活扶助機能	4 養護機能
5 楽しみの機会提供機能	6 教育機能	7 アレックジ蓄積機能	8 規範更新機能	9 住民調整機能
10 窓口機能	11 情報伝達機能	12 自警機能	13 開進機能	

ここでは13の機能を紹介していますが、集落にはもっとたくさんの機能があります。それぞれの機能を「ある／なし」ではなく、「強／弱」で見つめ直してください。場合によっては一部の機能を、他者にいったん任せしてしまうのもアリだと思います。

5

6

他人(市役所や社協)に任せられない、自分たちで保たなければならない機能がある。



知恵を蓄積する機能



自分たちの都合で、規範を変える機能

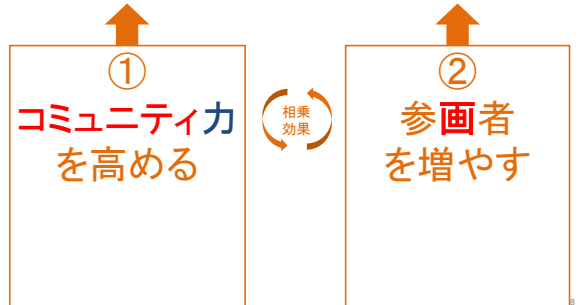


対話によって合意形成したり、いざこざを治める機能



外部とのやり取りをする窓口機能

共 機能の向上



コミュニティとは
利害関係を共にする共同体

自治とは
自分たちに関することを自らの責任においてする処理

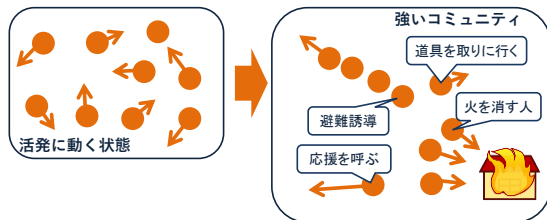
コミュニティの活性化とは
住民がいっぱい動いている状態への変化



活性化を促す3要因

- ・ 自分事感
 - ・ 刺激
 - ・ 仲間
- 外発的：災害、行政誘導など
内発的：動きたいから動く

強いコミュニティとは
動きたい時にすぐに動ける集団



強いコミュニティの要件
(すぐに動ける集団)

- ① お互いの**できること**を知っている
(得意苦手、好き嫌い、所有道具など)
- ② **動き方**を知っている
(動き慣れている)

何でもよいからやってみれば、**コミュニティ力は強くなる!**

新し活動が生まれる地域には共通した習慣がある

	GOOD→	BAD→
① 組織や会議の構成	有志	充て職や持ち回り
② 話し合う機会	多い	少ない
③ 話し合いスキル	上手	下手
④ 情報共有	多い	少ない
⑤ 事務担当者	いる	いない
⑥ 事務局への評価	高く評価	低く評価
⑦ 報酬に対する認識	有りの人いる	無報酬が美德
⑧ 現状認識	できている	できていない
⑨ 伴走支援者	有り	無し
⑩ 外部資源の活用	なれている	なれていない

13

よい話し合い(よい会議)の定義

「またしたいと思える話し合い」

条件(成功体験)

- ① 誰も傷つかなかった
- ② 具体的な変化や行動が生まれた

14

集まるのは有志だけ

⇒ 全員が来たくて来ている

(禁止: 充て職、持ち回り、付き合い、動員、見学)

【呼びかけ人の心得】

- ・人数が少なくても気にしない
- ・何かが始まると信じる

15

呼びかけのコツ

- ① たくさんの人に事前相談
「こんなんやろうと思っているんやけど」
- ② コミュニティ内の全員に公募
家長制ではない。文字通りの全員
- ③ 個別に声掛けする
× お願いして来てもらうのは禁止
○ 「よければどうぞ」のお誘い

①②③の順番もポイント

16

場づくりの心得

- 話し合いのルールがある
グラウンドルール
- 報告・連絡・相談・承認を
使い分ける
- 発散と収束の段階を分ける

17

話し合いのルール(例)

- ① すぐに実現できなくても夢を語る
- ② 他人の揚げ足を取らない
- ③ やることを他人に押し付けない
- ④ 来るもの拒まず、去るもの追わず



※会場に貼り出して、いつでも確認できるようにする。

18

会議の種類

変更不可(ここに時間をかけたくない)

- 1.報告 → 過去あったことを伝える
- 2.連絡 → 未来の予定を伝える

変更可能(ここに時間を使おう!)

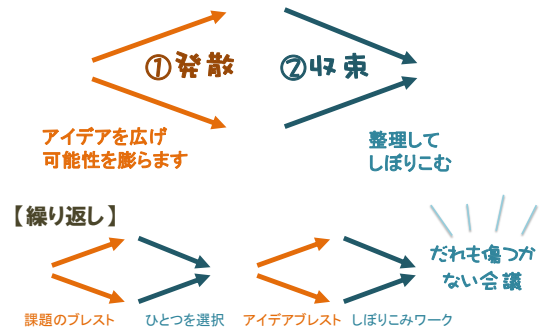
- 3.相談 → 現在のことを話し合う

しっかり相談したことなら、承認されやすい

- 4.承認 → GOサインをもらう

19

発散と収束を分ける



20

Step1. <発散>アイデア出し

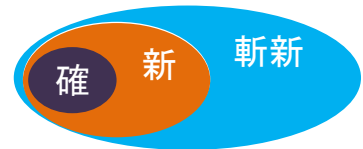
みんなで、とにかく自由に意見を出す

- ・絶対にしぼりこみはしない
- ・実現の可能性は考えない
- ・むしろ無理そうなことを考える
- ・ほかの人の意見を否定せず、膨らませる
- ・アイデアが出やすい環境づくりも大切

21

はじめから採用されそうな意見
(レイアップシュート)
ばかりを出そうとせず

的外れで気楽なアイデアを
おもしろがって出してみる

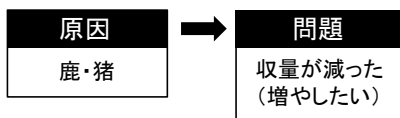


22

「人口減」「高齢化」は原因で、それにより発生する諸現象が問題(困り事)です。

原因を取り除かなくても、
問題の解消はできる。

原因だけでなく、
問題にも注目してアイデアを出そう!



Step2. <収束>しぼり込み

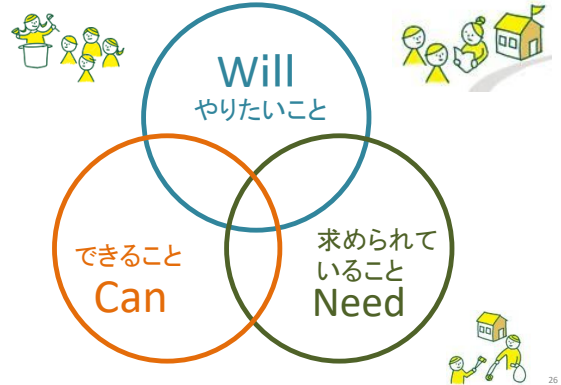
何からやるのか決めていく

- ・新たなアイデア出しはひかえる
- ・目的や効果などに合わせてしぼりこむ
(否定しなくてもしぼり込める)

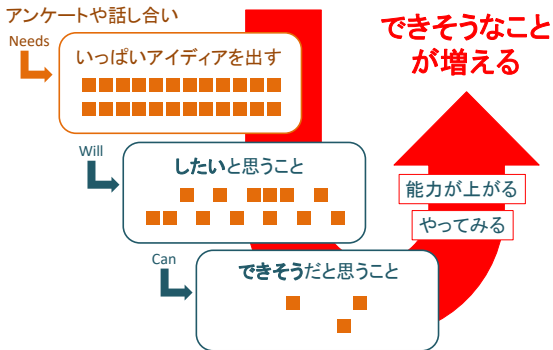
24

収束のヒント

- Will・Can・Need法
- マーク付け(☆、シール)
- KJ法
- 優先順位法
 - ・テーマで絞り込み
 - ・ターゲットで絞り込み
 - ・目的で絞り込み
 - ・ジサとコサで絞り込み

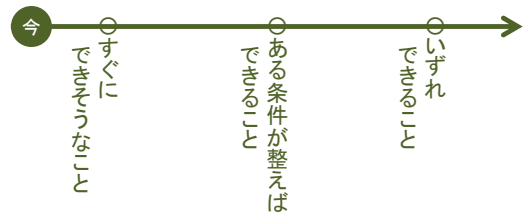


発散から絞り込みまでの流れ パターン①



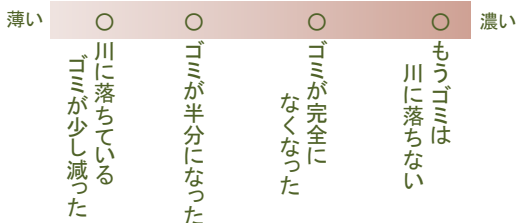
すぐにできることと、いずれがある。
すぐにはじめず、いずれに備える。

《ジサ(時差)》



薄い解消と、濃い解決がある。
薄くてもやる意味はある。

《コサ(濃さ)》



急いで成果を求めるのではなく
「思考の質」からはじめてはどうでしょう？

地域の役員から、集落コミュニティに関する市役所職員に相談があった。どうします？



31

役員ストップ問題

役員に情報が集中し、末端まで伝わっていない。末端が知らされるのは、決定事項のみ。

母屋ストップ問題

敷地内同居している息子世帯に、回覧板などが届かない。

家長ストップ問題

自治会から届いた案内を家長だけが見て、ゴミ箱にポイ。

32

発信方法 王道編

いろいろな媒体で発信する！

- (例)・全戸配布
- ・SNS facebook
- Instagram
- LINE
- ・ポスター
- ・ホームページ
- ・有線放送
- ・メール



33

発信方法 番外編

情報が行き交う場所作り

日常で身近な場所

- (例)・ごみ集積所
- ・軒先
- ・バス停
- ・スーパーの前

+

- ベンチ／灰皿／自販機
- ／集配ボックス
- ／生協の共同購入
- ／冷蔵庫&ビール



34

発信する内容編

未来)・告知やお知らせ

過去)・成果の報告

現在)・話し合っている内容

- ・困っていること、悩み
- ・意見求む

35

参加者とは

集まりに参加して加わる人

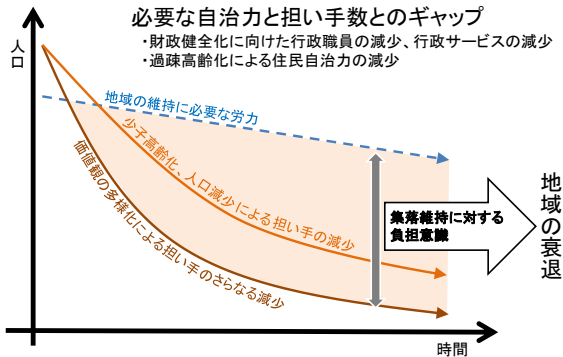
参画者とは

計画段階から関わる人

36

地域の衰退とは

必要な自治力と担い手数とのギャップ
 ・財政健全化に向けた行政職員の減少、行政サービスの減少
 ・過疎高齢化による住民自治力の減少

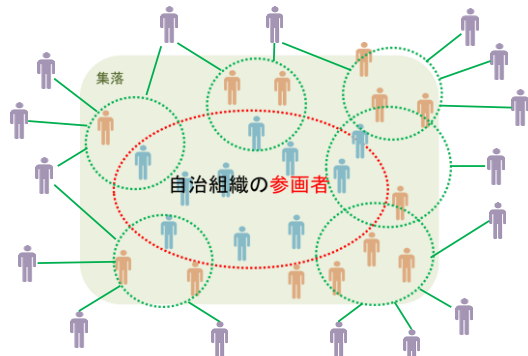


- ・人口が減っていく
- ・中央組織(自治会)の力が弱まっていく
- ・行政サービスも低下する

なんとかせねば・・・

解決策モデルの一つが、

少人口多人数社会



それぞれが外部と関係を持つ(少人口・多人数社会)



- やっていることは、さらに増え、
- ・宿泊施設
 - ・貸せる空き家の整備
 - ・石積み水路の技術継承
 - ・獣害対策の柿摘み隊
 - ・送迎サービス
 - ・山林調査
 - ・歴史まとめ など

- 活動費助成
- 広報助成
- 会場助成



- ①区が持つ力(管理施設と全戸配布機能)も活用
- ②既存団体の活性化を促す
- ③区外の団体でも申請可能(関係人口を増やす)
- ④申請方法がかんたん
- ⑤通年受付
- ⑥収支プラスでも返金不要
- ⑦寄付金の受け皿

財源 充て職で嫌々やっていた行事を廃止
 既得権団体に渡していたお金を停止
 住民からの寄付金など

今どきに合わないイメージ

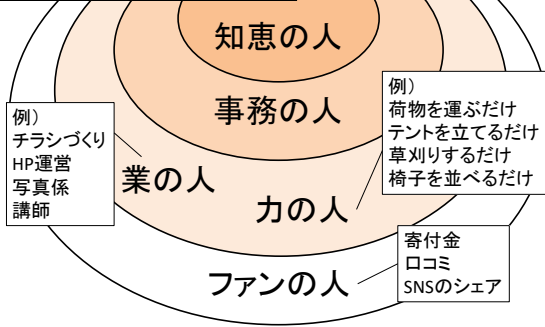
役員になったら

- ・責任
- ・知恵、企画
- ・事務
- ・肉体労働
- ・担い手探し、育成



あれもこれもで、しんどくないですか？

関わりどころを見つける



43

チームごとに自分の役割は違うが普通



田畑昇悟
の場合

- NPO法人テダス ……事務、相談員(有給)
- ドリームえんじんネットワーク ……判断、責任(有給)
- チーム・シラベル ……お飾り代表(無給)
- NPO法人つむぎ ……監事(無給)
- 横田区壮年会 ……事務(無給)
- 環境パートナーシップ委員会 ……企画、チラシ(有給)
- 日吉映画部 ……AD、広報、役者(無給)
- やまびこの会 ……山整備の忍足(無給)
- 京都先端科学大学 ……非常勤講師(有給)

44

チームリーダーの役割をとらえ直し

知恵、責任、事務、労働
…なんでもかんでもやる人



「やりたい人、集まれ～」
と声をかける人



45

集落ルール(規範)とは、
一定の範囲で**共通認識**され、
時々都合(事情)に合わせ、
自ら働きかけることで
更新可能な
行動や判断の基準。

能動的規範の
更新機能

集落の歴史を調べるとおもしろい。頻繁にいろいろな見直しが行われている。
「昔からこうだ…」って、正しくは「話し合ってみ直しましょう」という意味になる。

46

規範は、集落社会全体の利益を目的に、
長年にわたって培われてきた
集落的道徳観・倫理観とも言える存在。

規範に従える？	集落内の存在感	補助(投資)を受けた移住者には、「 普通ではない 」が期待されることも。
従える(同調)	普通	
従えない(逸脱)	変わり者 ネガティブな存在とは限らない	

47

書いてないやんげ問題
規約はどこいった問題
規約と違うやんげ問題



集落の規範を棚卸し

可視化して共有
「集落の教科書」

48

【市民活動のお困りごとは・・・】

NPO法人テダス

Tel : 0771-68-3555

Mail : tedasu0827@kcn.jp

Web : <http://tedasu.com>



55